

**凡例**

1. 地盤沈下

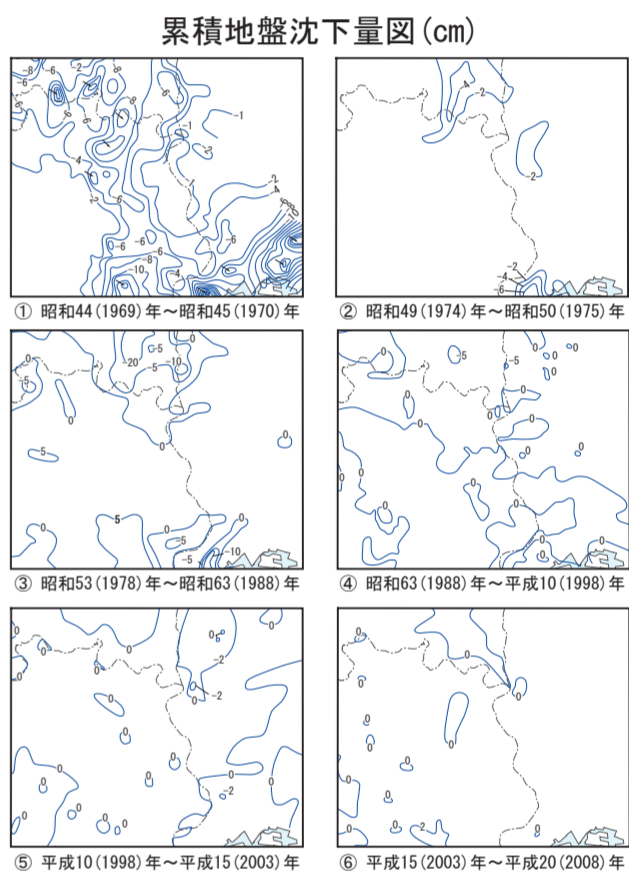
①(②)	累積沈下量(cm)
①(②)	-100cm以上
③	-50~-100cm
④	-25~-50cm
⑤	-10~-25cm
⑥	-5~-10cm
⑦	0~-5cm
⑧	0cm未満

①(②) 水基点・水準基準番号  
 ③ 集計期間  
 ④ 集計期間の累積沈下量(単位:cm)  
 ⑤ 集計期間の最大沈下量(単位:cm)  
 ⑥ 集計期間の最大沈下量(単位:cm)

□ 集計対象外とした水基点・水準基準  
 ○ 水基点・水準基準管理境界

【資料】  
 埼玉県(1977) 埼玉県地盤沈下調査報告書 昭和51年度観測成果。  
 埼玉県(2010) 埼玉県地盤沈下調査報告書 平成22年度観測成果。付図、水準基準配置図。  
 東京都土木技術研究所(1960~1975) 水準基準測量成果表(昭和34年度~昭和49年度)。  
 東京都土木技術支援・人材育成センター(2010) 東京都公共基準点・水準基準配置図、第4版。  
 千葉県(2010) 千葉県水準測量成果表 昭和36~50年、データベース、千葉県環境生活部。  
 千葉県(2010) 千葉県精密水準点の記。

【注】  
 集計期間中に移転・改埋があった水基点・水準基準および集計開始前に観測がされていなかった水基点・水準基準は集計対象外とした。水基点・水準基準位置は現在の配点図を用いた。現在の配点図にない水基点・水準基準は削除した。集計期間中にデータ欠損があった地点の最大沈下量及び沈下量は○をつけて表示した。



【資料】  
 関東地区地盤沈下調査測量協議会(1970) 地盤沈下等量線図、自昭和44年2月1日至昭和45年2月1日。  
 同協議会(1975) 地盤沈下等量線図、自昭和49年1月1日至昭和50年1月1日。  
 同協議会(1996) 累積地盤沈下量図、自昭和53年1月1日至昭和63年1月1日。  
 同協議会(2000) 累積地盤沈下量図、自昭和63年1月1日至平成10年1月1日。  
 同協議会(2003) 累積地盤沈下量図、平成10年1月1日至平成15年1月1日、日本地図センター。  
 同協議会(2008) 累積地盤沈下量図、平成15年1月1日至平成20年1月1日、日本地図センター。

- 摘要**
- 経緯度の基準は世界測地系
  - 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
  - 作業機関 東京カーグラフィック株式会社
  - 背景地図 数値地図5000(地図画像)平成17年要部修正
  - 対応する二次メッシュコード 533946,533947,533956,533957



- ( )内は所属20万分1地形図名
- 埼玉県  
 1. 川口市 2. 鳩ヶ谷市 3. 草加市 4. 八潮市  
 5. 三郷市
- 東京都  
 6. 足立区 7. 葛飾区 8. 北区 9. 豊島区  
 10. 荒川区 11. 文京区 12. 台東区 13. 千代田区  
 14. 港区 15. 中央区 16. 墨田区 17. 江東区  
 18. 江戸川区
- 千葉県  
 19. 流山市 20. 松戸市 21. 柏市 22. 鎌ヶ谷市  
 23. 市川市 24. 船橋市 25. 浦安市

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図5000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平成22年度、第703号)」